

## 仙台市地域公共交通利便増進実施計画調査・検討業務

### 1. 業務の目的

本業務は、次期仙台市地域公共交通計画の策定に併せて、次期仙台市地域公共交通利便増進実施計画を策定するにあたり、地域公共交通の利便性向上および運行効率化を図り、持続可能な移動手段の確保に資する施策を検討することを目的とする。

### 2. 業務成果概要

#### (1) 都心直通路線と地下鉄フィーダー路線との機能分担の検討

路線バスの運行効率化に向けて、過年度に検討した都心直通路線と地下鉄フィーダー路線との機能分担の検討結果を再整理し、交通事業者と協議を実施した。

検討対象	北六番丁小学校前方面
検討内容	バス利用状況分析や都心直通路線と地下鉄フィーダー路線との機能分担の検討成果を再整理し、交通事業者と路線バスの運行効率化に向けた検討を実施。 過年度検討対象とした3方面のうち、北六番丁小学校前方面を対象として、バス停別の利用状況や都心までの所要時間などを分析するとともに、都心直通路線と地下鉄フィーダー路線との機能分担の検討ステップ等について交通事業者との意見交換を実施。 また、地下鉄乗り継ぎによるメリットやデメリット、運行効率化の実施における運行経路等の課題等の整理を実施。

#### (2) 運賃施策(運賃の統一化等)の検討

仙台市におけるあるべき運賃体系の方向性について公共交通ワーキング(メンバー：吉田委員・交通事業者・公共交通推進課)で意見交換を実施した。

意見交換にあたり、仙台市における路線バスの運賃体系の変遷や運賃制度を整理したうえ、運賃に関する現状と課題を整理した。

現状と課題を踏まえつつ、あるべき運賃体系を整理し、サービス水準の統一化や事業者の運賃収入確保に向けて議論を行った。

表1 仙台市の運賃に関する現状と課題

運賃に関する現状と課題	
①	重複路線における運賃差・エリアで異なる運賃の改善 例) 仙台駅～八木山動物公園駅 市交通局：300円 宮城交通：380円
②	交通事業者の収支状況の改善 ⇒燃料費の高騰や深刻な運転士不足等により収益悪化を招いている
③	運賃改定に伴う事業者の事務手間 ⇒上限運賃認可にあつての原価計算や説明会の開催等
④	乗り継ぎに対する利用者の心理的負担・経済的負担 ⇒乗り換え手間と運賃負担の増加による乗り継ぎの敬遠

検討対象	市内全域
検討内容	市内路線バスの運賃体系の変遷及び運賃制度を整理し、運賃に関する本市の現状と課題を挙げ、公共交通ワーキングでの意見交換を図った。 現状と課題を踏まえつつ、仙台市におけるあるべき運賃体系を提案した。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去からの路線バスの運賃の変遷の整理</li> <li>仙台市における運賃体系の課題の整理</li> <li>他都市における運賃施策の事例整理</li> <li>あるべき運賃体系の実現に向けた今後の取り組み事項の整理</li> </ul>
目指すべき運賃体系	わかりやすい運賃体系の実現、事業者の持続可能性に資する運賃収入の確保

### (3) 桜ヶ丘方面における連節バス等の導入の検討

2024問題による運転士不足に対応した輸送手段の確保に向け、バス幹線区間であり乗客数が多く、かつ特定の時間帯に需要が集中する仙台駅～宮城大学の区間を対象に、連節バスやPTPS、バスレーンの導入効果を確認するため、過年度整理した各種データ(バス運行本数・交通量・信号現示・道路幅員等)を用いて、交通マイクロシミュレーションを実施した。

検討内容	過年度調査で取得したデータを用いて、対象区間における連節バスやPTPS、バスレーンの導入効果を評価する交通マイクロシミュレーションを実施。 交通マイクロシミュレーションにあつて、複数のシナリオを設定して実施することで各施策の導入効果や課題を確認。
------	--

表2 シミュレーション設定概要

対象時間	6:00～9:00	
対象区間	仙台駅～宮城大学(右図)	
インプットデータ	連節バス	7時、8時発の既存の便に置き換え(上り2便、下り2便) 3箇所のドアで乗降
	宮交バス	対象:仙台駅～宮城学院を結び計6系統 時刻表:宮城交通提供データに基づいて1便ずつ設定 乗降人数:宮城交通提供データに基づいて1便ずつ停留所ごとに設定
	市交通局バス	対象:仙台駅周辺で対象区間と関わる系統 ※電力ビル前or広瀬通⇄桜ヶ丘団地入口or北仙台or定禅寺市役所前を走行するすべての便 時刻表:市交通局G T F Sデータに基づいて設定
	自動車	2025年3月調査データをもとに車種別(普通車/大型車)時間帯別ODを設定
	横断者 歩行者・自転車	2025年3月調査データをもとに設定
信号現示	2025年3月調査データをもとに設定	



#### ■分析結果

表3 シミュレーション結果

シナリオ名	バス所要時間 (乗降時間含まない)	バス乗降時間	一般車の 旅行速度	交差点渋滞長
現況	—	—	—	—
連節車両2台	変化なし	短縮	変化なし	変化なし
連節車両2台 優先レーン	(下り)変化なし (上り)一部区間で短縮	短縮	大きな変化なし	一部交差点で増加
連節車両2台 優先レーン PTPS	(下り)変化なし (上り)一部区間で短縮	短縮	大きな変化なし	一部交差点で増加

各施策の導入により、一部区間でバスの所要時間の短縮が確認できた一方で、渋滞長が増加する交差点も確認された。この結果を踏まえ、一部区間への施策の導入などを検討するとともに、交通事業者や関係機関との協議・調整を行い、具体的な効果や課題の整理が必要。

### (4) 仙台市交通政策推進協議会ワーキングへの参加

上記(2)および(3)に係る具体的内容について、仙台市交通政策推進協議会ワーキングへ参加し、学識経験者等の意見も踏まえながら、実施事業内容の検討を進めた(計5回)。